

UP-200-J2



上の写真は、UP-200-J2 (M/L) です

- UHF帯中出力(200mW)機器
→ 中距離(1m以上)読み取りが可能
- UHF帯特定小電力機器
→ 利用場所が制限されず使用可能
- 4種類のホストインターフェース※1
→ USB / RS-232C / LAN / 無線LANに対応

※1: Ethernet(10/100BASE)と無線LANの共存不可
無線LAN対応品は受注生産

製品仕様

UHF帯RFIDリーダ・ライタ(国内・特定小電力機器)		
製品名	UP-200f-J2 (USB)	UP-200-J2 (M/L) UP-200-J2 (M/WL)
外 観		
機器種別	fファミリ	CBファミリ
対応タグ通信規格	ISO18000-63/ EPC C1G2	
周波数	920.6~923.4MHz (15チャンネル)	
RF送信出力※2	200mW	
チャンネル選択機能	チャンネル固定、グループチャンネル選択	
アンテナ※3	内蔵(円偏波)	
上位インターフェース※4	USB	(M/L): USB, RS-232C, LAN (M/WL): USB, RS-232C, 無線LAN
電源	USB/バスパワー	付属ACアダプタ
外形寸法	140 × 110 × 35mm (突起物除く)	
対応OS	Microsoft® Windows® 8.1(64bit版) Microsoft® Windows® 10 (32bit版/64bit版)	
対応規格	ARIB STD-T107, RoHS2	
標準提供形態	受注生産 1式~	

※2 USB/バスパワーの駆動能力により送信出力が低下する場合があります。

※3 外付けアンテナタイプの接続可能アンテナは4dBi以下となります。

※4 上位インターフェースを限定した特注品にも対応致しますのでご相談ください。

開発者支援キット

開発者支援キット		
製品名	UP-200f-J2 (USB) -DK	UP-200-J2 (M/L) -DK UP-200-J2 (M/WL) -DK
構成品	本体、CD-ROM、サンプルタグ、セットアップガイド、ACアダプタ	
開示情報	API仕様、プロトコル仕様、サンプルソースコード(API利用)	
開発環境(API使用時)	Microsoft® Visual Studio® .NET 2003以降 (Visual C++, Visual Basic .NET, Visual C# .NET) Microsoft® Visual Basic6.0	

開発者支援キット(DK)は、機能検証とソフトウェア開発のためのRFID開発支援キットです。本体のほかに、サンプルアプリケーション、開発用ライブラリ(API)、コマンド仕様書、サンプルソースなどが同梱されています。

サンプルアプリケーションは、UHFタグのエンコードが簡単に行え、メモリアクセスやリーダ・ライタの設定・機能が確認できます。また、検出したUHFタグのIDをキーボード入力に変換し、メモ帳などに簡単に記録できるキーボードシミュレートツールを用意しております。

開発者支援キット(DK)は、機種により、[CB ファミリ]と[f ファミリ]の2種類用意しております。[CB ファミリ]は、インターフェース拡張オプションが付属されている製品群、[f ファミリ]は、インターフェース拡張オプションがない製品群となります。インターフェース拡張オプションの有無によって区別します。

お問合せ先

E-mail : info@artfinex.co.jp



株式会社アートファイネックス
RFID東京事業部

〒101-0047 東京都千代田区内神田1丁目7の4 晃永ビル 5F

株式会社アートファイネックスは、ソーバル株式会社からRFID事業を2015年3月31日付にて、譲受致しました。